

# ゼロエネ住宅「ウチイケ」

## 国の補助対象業者に

経済産業省のゼロエネルギー住宅補助金を利用できる建築業者(ビルダー)に、住まいのウチイケ(室蘭市八丁平、内池秀光代表取締役)が登録された。今回初の登録で全国532社、道内では20社。室蘭市内では唯一認められた。本年度から5年間で、同社が新築する注文住宅の55%をゼロエネ住宅にする目標を掲げている。

ゼロエネ住宅(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)は、日々消費するエネルギーと、作り出すエネルギー

が差し引きでゼロ以下になる住宅を指す。建物の省エネ性能と、太陽光発電の組み合わせで光熱費がかからないという。

同社施工の住宅「eco house Zero(エコハウスゼロ)」は、既に2014年度(平成26年度)の経産省の事業採択を受け、建築に対し補助金が交付された。新たな制度は、この補助を受けるには登録業者になる必要があり、同社が応募し認定を受けた。公募に当たり、同社は16〜20年度に新築する住宅の

うち、ゼロエネ住宅を55%とする目標を打ち出した。同社はエコハウスゼロで超高断熱を実現しており、同社施工の住宅「U-BOX」では「ほんの少しの仕様変更をすることで基準を満たせる」と強みをアピールする。経産省のゼロエネハウスの要件を満たすと、125〜150万円の補助が受けられ、住宅購入者の負担が軽くなる。同社は今後建築する住宅について、顧客にゼロエネ対応の住宅を提案していくという。

と光熱費が掛かってくる。内池社長は「住宅建築の初期費用が高いか安いかに目が行きがちだが、車の燃費と同じで、日々掛かる光熱費を抑えることが重要」と訴える。「省エネに目を向けることで地球環境にも貢献できる。自分が本当に住みたいと思える住宅を提案していきたい」と語った。西胆振では登別市の北翔建設も認定を受けた。

(粟島暁浩)



ゼロエネルギー住宅補助金を利用できる事業者(認定された住まいのウチイケの内池社長)